

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 黒須一夫  
幹事 大口弘和  
会費委員長 秋山茂則

No.28

ロータリーを楽しもう!  
ENJOY ROTARY!

1989~90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第370回例会 平成2年1月30日(火) 晴

### ◇ “奉仕の理想”

#### ◇ 出席報告

会員 61名 出席 48名  
出席率 78.69%  
前回 1月23日 (修正出席率)100%

#### ◇ ビジター紹介

京都洛東RC 宮下 晃一君 他1名

#### ◇ ニコボックス

小坂井 盛雄君 本日「生かしめられる」三つの奇蹟と云う題で私の体験をお話しさせて頂く機会を得させて頂き有難うご座居ます。松居 敬二君 ホームクラブごぶさたしました。本日早退いたします。

西川 豊長君 誕生日日祝い。

加藤 大豊君、江崎 民夫君 婦人誕生日祝い。

青山 敏郎君、堀江 宏輝君 結婚記念日祝い。

#### ◇ 大口幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会は節分会を松林寺にて午後6時より開催いたしますので、昼間の例会はございません。お間違いないようお願いいたします。

#### ◇ パナー交換

京都洛東RC 宮下 晃一君

#### ◇ 黒須会長挨拶

“原子爆弾と私の経験”

原子爆弾のことで私がアメリカのバーで経験したことをお話しします。

今から15年前のアメリカのバッファロー市のホテルのバーでの出来事です。バッファロー大学歯学部の見学をおえて、バーで私が飲んでいましたと、50過ぎのでっぶりした婦人が、非常になまりのある英語で話しかけてき

ました。はじめはよくわかりませんでした。私が日本人とわかると、いらだち、さらに殺気だった様相にかわってきました。

彼女の話のを要約しますと、彼女の夫は米陸軍に入隊し、フィリピンに出征し、日本軍の捕虜になった。バターンの行進をして、横浜につれてこられました。強制労働に従事させられ、日本の敗戦後に米国にかえてきたが、栄養失調がひどくなっており、病院で1カ月後に死亡したとのことでありました。

彼女は激昂し、日本人の私が殺したと目をくり上げておりました。私もそのヒステリックなのに困惑いたしました。周囲をみますと、バンドは演奏をやめ、15人位のお客は我々の話は如何と、彼女に好意をもち、私に敵意を抱いて聞き耳をたてている状態でした。

とっさに、私の脳裡にうかんだのは原子爆弾による広島、長崎の悲惨な被害のことでした。一大勇気をふるって、貴方はハッピーだとどなりました。彼女は私が謝罪すると思っていたのに、ハッピーだといわれて激怒しました。なぐりかからんばかりでした。

私は下手な英語で広島、長崎はトルーマン大統領により、原爆が投下され瞬時にして、50万近くの人が黒コゲになったり、原爆症で血を流して苦しみながら死んでいった悲惨な状況を訴えました。それに比べて、貴方は御主人を貴方の腕の中で1カ月間も介抱できたのはラッキーではないかと、ゆっくりとしゃべりました。これを聞いていた婦人はだまりこくりました。数分間、そんなに長い時間ではなかったかも知れませんが、私にとって、非常に長い時間でした。突然彼女、昔のヤンキー娘は豹変しました。貴方の言う通りかもしれない。私も原子爆弾はひどいと思う。と急に自分の考え方を変えたのには驚かされました。と同時に私は地獄からはいだしたとい

う感じでした。気嫌を直した彼女からビールをつがれ、他の客からもつがれました。バンドの演奏は再開され、元の酒場にもどりました。

このことから、欧米人には我々の意見を強く主張し、理をつくすことにより、彼らを納得させることが出来るという大きな教訓を得ました。と同時に原爆のことについて、日本人として全世界の人々に訴える必要性を痛感しました。

◇ 講演

「生かしめられる」

三つの奇蹟

会員 小坂井 盛雄 君



昭和19年初秋、満洲国北辺（現中国）興安嶺の山中、吾々は日中の穴掘り作業の疲れでグッスリと眠り込んで居った。

丸太で作った仮兵舎は真中を通路に両側を一段高くしてアンペラを敷き、軍装の俣でまるで丸太をころがした様な寝様であった。

突然、国籍不明機の夜襲である、自分は右の足をガンと丸太棒でなぐられた様な衝撃を覚えて飛び起きた。ところがガクッと右足が落ちてしまった。ハッとして右足を見たら、無い、無いのだ。あるべき筈の軍靴の踵が無く、白い靴下がのぞいて居る。良く見るとその靴下が茶色に焦げているではないか。

「敵襲!! ソ連機だ。外へ出ろ!!」

敵機は去った。被害は自分の右側で寝ていた戦友Aは即死、向側左の戦友Bは重傷であった。あわたしく死傷者の処理を指揮しながら、

「悪運の強い奴だなぁ」と中隊長以下。

しかし、この時には未熟にも未だ大いなる神に生かしめられて居るなどと謙虚な考え方は夢想だに出来なかった。俺の奇蹟No.1である。俺は野砲の観測指揮班所属、いつもは砲列観測と云って本隊の大砲が並んで居るところに図板を置き、甲観測、乙観測からのデータを図板に入れ、敵の所在地を正確迅速に算出して砲隊長に報告する役目である。

当日、第一観測に出ていたA見習士官が青い顔してやって来た。

「オイ小坂井、明日俺と代わって呉れ」

聞けば下痢をしていると云う。

いやいや代わってやった武士の情と云われて仕方無く代わってやった俺は生き残った。下痢をして頼みたまつって甘味品迄持って来て交替を頼んだ彼、A見習士官は死んだ!

もし俺が頼んで代わっていたら何と寝覚めの悪い事だろう。しかし俺は助かってしまった。俺の奇蹟No.2である。

シベリヤへ抑留されて（当時は捕虜になっ

た事をこう云った）2年経過した、22年11月初旬の事。シベリヤで迎える3回目の冬である。この日吾々は前日迄伐採して居ったA山の伐採を取り止め、今日からはB山の伐採をする事になって居たのだそうだ。俺がこのA山とB山との分岐点のすぐ手前で倒れて居たのだった。この道は夕方迄誰も通る人が無い。同じ倒れるにも倒れる場所が大切だ。

A山をしぶしぶ下りてB山へ向かおうとした戦友が倒れている俺を見つけて呉れ、九死に一生を得る事が出来た。しかも、一片の凍傷も負わずにである。

俺の奇蹟No.3である。ここに至って、神様、仏様かそれは判らないが大きな働きによって、「お前はもう少し生かしておいてやろう」と云う事なのか?自分の力ではない、自分で生きているのでは無い大きな大きな力によって生かしめられて居るのだ。とひしひしと感じた。人を裏切る事をしない。正しいと思う事をやろう。自分の廻りの人の為になる事をやって、少しでも幸福になる様になって貰おう!! その時から自分は大きな大きな宇宙の中の塵・芥の様な小さな小さな存在でしかない自分を知った。そして胸を張り、太陽サンサンの中を例え誰かに誤解される事があっても、諂わずおもねず正しく自身の信ずる道を歩こう。命ある限りと。

「自分は三度も命を助けて頂いたのだから」と!!

有り難う、神様。有り難う、仏様。そして私を取り巻く皆さん、本当に有り難う。

◇ 1月度理事役員会議議題

1. 新入会員候補者承認の件
2. 新入会員候補者の件
3. 1990~91年度委員会委員の件
4. 1989~90年度上半期決算報告の件
5. ホームクラブ欠席の件
6. 慶弔規定の件
7. 青少年奉仕（バレーボール大会）記念品の件
8. 節分会（松林寺）の件

◇ 例会変更のお知らせ

名古屋守山RC 2/17 (土)名古屋第二分区  
I. G. F. 全員登録の為、  
PM1:30~18:00  
名古屋中RC 2/19 (月)第2回F.S.M.の為、  
加茂免にてPM6:00より

◇ 次回例会（2月6日）

節分会  
松林寺にてPM6:00より

◇ 次々回例会（2月13日）

講演 “涉外合弁契約について”

中京大学教授

越川 純吉 氏 （紹介 西川君）